

市民協働課で交付決定した事業(平成28年度)

No.	団体名	事業名	事業概要
1	Father”H”Family	「それしつけ？それとも虐待？」～大切な人を守りたい ほんの一步の勇気があれば・・・～	講演会を通じて虐待の知識習得, アンガーマネジメントを学ぶ
2	一般社団法人田から屋	高齢者の健康サポート	認知症予防の健康法を体験する
3	Team 100% Free Hugs Challenge実行委員会	久坂七夕『元型物語』出版記念講演会タ七坂「物語(ストーリー)の描き方」～無限の創造力が身につく子育て～及び【子どものワクワクを引き出し, のびのびと学べる子育て「勉強しなさい」からの解放】	講演会を開催し, 子育てについてのヒントや気づきを得る
4	親子ふれあいプロジェクト	子育て講演会『しあわせ脳』は抱っこで育つ。～子どもに贈る, スキンシップの魔法～	講演会を通じてスキンシップによる幸せホルモンの分泌がもたらす効果について学ぶ
5	C級グルメ実行委員会	C級レストラン～子供達が共同制作したピッツアでたくさんの大人達を魅了してしまおう～	調理方法や食材に関する知識を学ぶ
6	療育フォーラムにいがた実行委員会	療育フォーラムにいがた 2017	講演会を通じ, 障がい児の療育支援の現状や, 各種支援の事例を学ぶ
7	キッズプロジェクト夢カラフルパステルカラー障がい児者親の会	障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり障がい児・者車イス心のバリアフリーファッションショー&コンサート	ファッションショーや障がい児者理解の向上に関する講演会

(1) 事業名	『それしつけ？それとも虐待？』～大切な人を守りたい ほんの一步の勇気があれば…～
(2) 事業の実施期間	平成 28 年 6 月 1 日 ～ 平成 28 年 12 月 12 日
<p data-bbox="225 479 485 512">(3) 事業の実施内容</p> <p data-bbox="225 555 906 589">日時 平成 28 年 10 月 16 日 (日) 13:00～16:00</p> <p data-bbox="225 629 515 663">場所 江南区文化会館</p> <p data-bbox="225 703 695 736">参加人数 一般 120 名 学生 40 名</p> <p data-bbox="225 777 1430 887">児童虐待防止に詳しい島田妙子女史を講師として招き、“しつけと虐待”をテーマに講演会をしていただいた。</p> <p data-bbox="225 927 1442 1261">島田女史は、自身の虐待経験から、被害者だけでなく、加害者もとても辛い立場ということを理解したうえで、被害者支援、加害者支援を全国各地において行っている。壮絶な経験を乗り越えた島田女史のお話は、参加者の胸に響くものとなった。特に、怒りの感情から虐待は起きるといふ部分から「怒りの感情と上手に付き合う心理トレーニング”アンガーマネジメント”」の話については、参加者の気づきに繋がり、参加者の反響が大きかった。</p> <p data-bbox="225 1375 1442 1783">また子育て支援、父親という立場、これから子どもをもつ予定の新婚、そして児童虐待を行政の立場からと様々な立場の方からパネラーとして参加していただき、トークイベントを開催した。(パネラー：子育て応援施設 ドリームハウス代表 新保 まり子、子育てパパサークル Father”H”Family 代表 渋谷 俊男、元新潟市中央区役所健康福祉課こども支援係 伊藤けんたろう、一般社団法人オールアルビレックス代表理事 菅野 文宣、女性と子どもの教室「kite-me」代表 栗原あつ子、MC:無料絵本『にじいろ』編集長 徳橋 芳彦)</p>	

(4) 事業による成果及び今後の課題

多くの参加者より、しつけと虐待の区別が明確となったという実感の感想をいただいた。

そして講演会を受けた人から、ネグレクトの相談があった。

具体的な内容として「自宅に遊びにくる子供の同級生が食事をまともに与えられておらず、万引きしたお菓子を主食としているようです。事実確認を慎重に行い、学校と協議して児童相談所への相談を行なって行こうと考えています。」とのことでした。今までは気付かぬふりをしていたそうですが、講演会をきっかけに目を向けたようです。

これらのことから今回の講演会が、事業目的である「アンガーマネジメント習得による児童虐待の防止や減少」につながっていくものと考えています。

講演会で島田女史が伝えてくださったことを、広く知っていただくために今後も活動を続けていくとともに、講演会でも話をしていただいた「怒りの感情と上手に付き合う心理トレーニング” アンガーマネジメント”」については、今後も講座を新潟にて開催していきます。

今後の課題としましては、まだ潜在的にあると思われる児童虐待の実態をより多くの方へ発信するためにどう具体的に動いていくかが焦点となっています。

一朝一夕では、すぐに効果がでると思われない課題ですから、これからも地道に啓蒙活動をする基盤づくりが必要となっています。

①

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	200,000	200,000	地域活動補助金
参加費	100,000	60,000	@500円×120人(一般)
自己負担	125,000	147,032	
合 計	425,000	407,032	

①

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	200,000	170,000	◎	講師謝礼 @ 170,000円×1人
旅費	50,000	0		
消耗品費	40,000	2,688		ポチ袋 @ 216×1=216円 テープ@ 278×2=556円 オーピーバック@ 534×2=1,068円 封筒 848円
印刷製本費	125,000	102,780	○	講演会ポスター・チラシ印刷65,640円 チケット印刷5,400円 チラシデザイン30,000円 コピー料1,740円
通信費	10,000	8,812		佐川急便チラシ配布料 8,812円
保険料		7,700		イベント保険掛金(託児保育にかかる 傷害保険)
委託料		17,952		講演会託児料
賃借料		54,100		会場使用料
食糧費		40,000		飲み物・弁当(ボランティアスタッフ) @ 1,000円×40人
その他		3,000		生花代
合 計	425,000	407,032		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	高齢者の健康サポート
(2) 事業の実施期間	平成 28 年 8 月 10 日～平成 29 年 3 月 28 日
<p>(3) 事業の実施内容</p> <p>超高齢者社会の中でうたごえ喫茶や健康体操など認知症予防、健康長寿に役立つ体験をしていただいた。</p> <p>講師：健康体操 塚野真一（スポーツインストラクター・五泉市スポーツ推進委員・高齢者運動指導等）</p> <p>：うたごえ喫茶 片岡和人（勤務しながら空き時間を使い、施設訪問などのボランティアも実施中）</p> <p>岡田靖（ピアノ伴奏で高齢者にファン多い）</p> <p>会場 ホテルイタリア軒 12 階ゴンドリーナ</p> <p>日時 平成 28 年 10 月 27 日（木） 13：30～16：00</p> <p>参加費 1,500 円</p> <p>参加者 52 人（有料 44 人、招待 8 人）</p> <p>プログラム内容</p> <p>13：30～ 主催者あいさつ</p> <p>13：35～ 健康体操・講義・実践（講師 塚野真一）</p> <p>14：30～休憩</p> <p>14：45～うたごえ喫茶（リーダー 片岡和人 ピアノ 岡田靖）</p> <p>15：45～抽選会</p> <p>15：55～実行委員長あいさつ</p> <p>16：00 終了</p>	

(4) 事業による成果及び今後の課題

(成果)

- ・イスに座ったまま足の上げ下げ、腕の上げ下げなど、自宅で簡単にできる体操のやり方を学べたことで、1人でいつでも出来る運動への理解と、撮影した写真を「田から屋だより」に掲載して運動継続意識を高めた。
- ・うたごえ喫茶は、皆で集まり、声を出して歌う事を通じて、心身ともにリラックスし、元気になれる。「・家から出かける楽しみ・うたう、笑う、シャベル楽しみ」などの生きがいと絆づくりにも役立ち、やはり大切なイベントであると再確認できた。

(課題)

- ・年を重ねると必要になってくるサービスを充実させることで、生涯に渡ってサポートできる地域コミュニティの核づくりの構築が必要。

※「地域コミュニティの核づくり」チラシ参照

②

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	135,000	124,000	
入場料	120,000	66,000	@1,500円 × 44人
自己資金	15,000	58,500	
合 計	270,000	248,500	

②

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	135,000	125,000	○	体操インストラクター 40,000円 うたごえ喫茶指導者 50,000円 司会 30,000円 アシスタント 5,000円
チラシ印刷費	35,000	54,000	◎	デザイン 2回 印刷 1,000枚x2回
看板	20,000	0		
会場使用料	80,000	59,500		ホテルイタリア軒12階ゴンドリーナ
映像機材借賃	---	10,000	◎	レンタル代
合 計	270,000	248,500		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	久坂七夕『元型物語』出版記念講演会夕七坂「物語（ストーリー）の描き方」～無限の創造力が身につく子育て～ 及び【子どものワクワクを引き出し、のびのびと学べる子育て 「宿題しなさい」からの解放】
(2) 事業の実施期間	平成 28年 9月 20日 ～ 平成 29年 3月 28日
<p>(3) 事業の実施内容</p> <p>児童文学作家の久坂七夕さんを招き、子育てする親や大人の力で、子どもがいかに夢や希望を持ち行動できるかを知ってもらい講演をして頂いた。講演の中で大切な部分として、親の子どもに対する無意識での「してはいけない」という制限思考が、今後豊かな子育てを実現するにあたり大きな阻害要因であることを認識された。意見交換の中で参加者の問題解決の実現に取り組んだ。</p> <p>日 時：平成 28年 10月 8日 場 所：新潟健康づくりスポーツ医科学センター 参加人数：37名（一般26名、高校生以下11名）</p> <p>日 時：平成 28年 10月 9日 場 所：多国籍料理ラコックア 参加人数：10名（一般7名、高校生以下3名）</p>	
<p>(4) 事業による成果及び今後の課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の中で、絶えず子どもをポジティブに肯定し、ネガティブ（否定）のシャワーで包まないことが非常に大切で、その中から、子どもが自ら夢を描いて、どうそれに向かっていくか、またそれに大人がどう力を貸すことができるか、参加者が感動をもって認識をひとつにすることができた。 ・講演で、講師久坂七夕さんの子育てにおける、子どもの自由さを阻む「親や大人の制限思考」=いわゆる「どう生きていくか」ではなく「どう思われるか」という思考の問題とその重要性を参加者が学ぶことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、講演会や意見交換会などを定期的に行い、より一層地域の大人の意識を高め、各家庭で具体的な子育てに対するイメージの明確化と、支援する活動に取り組む検討をしたい。 	

③

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	摘要
参加費	82,500	10/8 2,500円×12名、2,000円×14名（前売・割引） 10/9 3,500×7名
補助金	125,000	経費 251,885円×1/2（千円未満切捨て）
主催者負担分	47,539	チームスタッフによる自己負担
合 計	255,039	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	収入等の 充当先	摘 要
講師謝礼・交通費 ・宿泊費	96,827	○	<p>○外税（合計77,827円⇒税込84,053円。内訳は以下の通り） 講師 久坂七タさんへの講演料68,055円 講師当日送迎費用 555円 丸山旅館2,593円 講師とスタッフ打ち合わせ飲食費 ・ガスト（3名）894円 ・小嶋屋総本舗（4名）5,730円 【補助対象経費合計は税込みで80,899円】①</p> <p>○内税（合計12,774円。内訳は以下の通り） 往復にかかる交通費（東京⇄新潟）12,774円②</p> <p>【よって、講師請求分の補助対象経費合計は①+②=93,673円】</p>
食糧費	1,036		<ul style="list-style-type: none"> ・10/8イベント参加者が連れてきた子ども（11名）に配布したお菓子1,036円
ポスターチラシ等 印刷代	14,680		<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ印刷発注代 7,000円 ・ポスター印刷発注代 5,020円 ・当日資料等印刷代 2,660円
広告宣伝費 チケット発送料	85,325	◎	Facebook有料広告ポスター、チケット等代行発送料 ポスター・チラシ作成のための必要物品等購入（Nextage 請求分）
消耗品費	9,891		<ul style="list-style-type: none"> ・育児スペース用保温シート・ゴミ袋 3,030円 ・カッター・アンケート用ボールペン 432円 ・プリンタインク 6,105円 ・除菌ウェットティッシュ324円
会場費	47,280		プロジェクター・マイク等含む ・10/8 会場費 7,280円 スポーツ医科学センター ・10/9 会場費 40,000円 ラックア
合 計	255,039		但し、補助対象経費は251,885円

※ 補助対象経費は、すべての経費を計上してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

(1) 事業名	子育て講演会 『しあわせ脳』は抱っこで育つ。～子どもに贈る、スキンシップの魔法～
(2) 事業の実施期間	平成28年 9月30日 ～ 平成28年11月 30日
(3) 事業の実施内容 山口創先生は、かねてよりスキンシップが及ぼす人間関係の影響について研究しており、特にスキンシップによる幸せホルモンの分泌がもたらす人の幸福や健康について、いかに有効でかつ重要であるのかお教えいただいた。それにより、子育ての悩みや児童虐待等の昨今の諸問題の一つの解決策として気づきを与える事ができ、先の諸問題に対する解決策へ向けたきっかけづくりを行うことができた。 日 時：平成28年10月30日（日）9：50～11：30 場 所：東区プラザホール 参加人数：260人（新潟市内在住の16歳以上の方、前売り券購入で当日欠席3名）	
(4) 事業による成果及び今後の課題 【成果】 ・講演で親子のスキンシップの大切さを聞くことにより、親子間の触れ合い、オキシトシンのもたらす効果に関して興味を抱かせることができた。その後の意見交換会でも活発に意見交換が見られ、育児放棄や児童虐待といった問題解決の糸口となった。 ・今後設立したNPO法人おやこ整体協会の活動にも弾みをつけることができ、今後の活動が円滑にいくことが期待できる。 ・講演会後にも親子間で気軽にスキンシップを行う事のできる親子整体に関心のある方からの講演の問い合わせがあった。（親子整体に関して：平成21年より親子のふれあいと身体のバランスを整えることを目的とした痛くない“無痛整体”を親子のコミュニケーションのツールとして用いることによって、親子間のコミュニケーションをも深める整体を各地のイベント内で年1回程の活動を進めてきた。好評をいただき、親子関係の改善、修復に役立つと思われることから、今後、これをNPO法人おやこ整体協会の活動として推進していく。） ・新潟日報の記事にも掲載していただくことができ、親子の触れ合いの大切さを参加者以外にも多少なりとも伝えることができた。 【課題】 ・今後は意見交換会を積極的に行い、継続的な活動をどうするのかを話し合い、具体的な効果を検証できる取り組みを行って行きたい。	

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	112,000	112,000	新潟市からの補助金
参加費	273,500	273,500	当日21人×1,500円=31,500円 前売242人×1,000円=242,000円
自己負担	76	76	
合 計	385,576	385,576	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
賃借料	9,950	9,950	◎	ホール設備8,000円、和室備品750円、プロジェクター1,200円
報償費	300,432	300,432	○	講師謝礼(30万円) 振込手数料432円
保険料	2,040	2,040		託児保険
印刷製本費	69,228	69,228		デザイン40,000円 A2ポスター@142.5円×40部=5,700円 A4チラシ@1.29円×14,000部÷18,000円 消費税5,096円 振込手数料432円
通信費	738	738		切手代
消耗品費	3,188	3,188		事務用品(筆記用具,ポストイット等)
合 計	385,576	385,576		

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

(1) 事業名	C級レストラン～子供達が共同製作したピッツアでたくさんの大人達を魅了してしまおう～
(2) 事業の実施期間	平成 28年 10月 21日 ～ 平成 28年 11月 6日
(3) 事業の実施内容 <p>近年、ファーストフード、欧米食の流通により「食」が多様性を失いつつあり、また都市化により農業・地域との関わりも希薄になっている現状がある。そういった中で子供達自ら、地域の地域文化や食材について学び触れ、そのイメージからレシピを考え準備・調理・提供を一貫して行うという新しい形の食育レストランを開催した。</p> <p>学んで、作りそれをレストランという形で人々に提供したことで、子供達の主体性を引出し「食」に対する新しい関心を体感した。</p> <p>日 時：平成28年11月6日（日） 15：00～ 場 所：森の巣箱 参加人数：99人（中学生以下の子供 56人 ，一般 43人）</p> <p>【事業準備などの実施日】 平成28年10月23日 第1回リハーサル（子供18人、一般16人） 10月29日 第2回リハーサル（子供16人、一般13人） 10月30日 スタッフ打合せ 11月 5日 収穫体験・スタッフ打合せ 11月 6日 「C級レストラン」本会実施</p>	
(4) 事業による成果及び今後の課題 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材に触れ生産を学んだことで、一つ一つの食物に対する想いと、それを生産してくれた方に対する愛情を深め、地域密着型の繋がりの輪ができた。 ・レシピ制作から調理まで全て子供達に任せることで、子供達同士が楽しく連携を計り、食に対しての強い関心を育んだ。 ・プロの料理人だけではなく、普段からあたり前のように料理を出してくれる家族や周りの人に感謝の気持ちを持つことができた。 ・子供達の無限の発想と、常識に捉われない柔軟なアイデアで一般参加の大人を感動させることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピーク時は設備の限界により焼きあがりまで時間がかかり、一般参加者を待たせてしまったので設備等の見直しも必要である。 ・開店から閉店まで、常時一般参加者がいる状態だったため、休憩時間を確保することが困難であった。次会の課題としてスタッフを増員し対応したいと考えている。 	

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
講師謝礼	40,000	70,000	○	NAPOLI より二人派遣による謝礼 30,000円×2=60,000円 タカギ農場 収穫体験・講和謝礼 10,000円
交通費	5,600	5,000		11/5 タカギ農場 西区台北区 参加者往復送迎 ガソリン代 1,000円×4台=4,000円 NAPOLI打合せ 駐車場代 1,000円
ポスターチラシ等	20,000	24,297		チラシデザイン製本・印刷代 20,000円 インク・プリント代 4,297円
看板作成請負料	0	45,000		看板作成請負代 45,000円
消耗品費	175,000	80,976	◎	① 衣装代 7,005円 ② 等身大パネル製作費 5,564円 ③ チェキ・フィルム 3,054円 ④ 内装費用等 42,270円 ⑤ 炭・薪・チップ 23,083円
賃借料	0	10,000		NAPOLIより ピザピール借上 10,000円
会場費	120,000	120,000	◎	10/23 森の巣箱 施設・厨房・P貸切一日使用料 30,000円 10/29 森の巣箱 施設・厨房・P貸切一日使用料 30,000円 10/30 森の巣箱 打合せ 一室・P貸切使用料 5,000円 11/5 森の巣箱 打合せ 一室・P貸切使用料 5,000円 11/6 C級レストラン会当日 森の巣箱 会場レンタル代 施設・厨房・設備・P使用料込 50,000円
食糧費	95,000	57,569		① ピザ生地代 29,160円 ② 食材費 28,409円 但し、補助対象経費は39,400円
郵送費・送料等	10,000	0		支出なし
手数料等	0	100		会当日お釣り用 両替費
合 計	465,600	412,942		但し、補助対象経費合計は394,773円

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

(1) 事業名	療育フォーラムにいがた2017
(2) 事業の実施期間	平成28年11月21日～平成29年2月21日
(3) 事業の実施内容 <p>発達障がい児者支援に関わる講師の臨床心理士 石川京子氏を招き、障がい児者の地域生活での課題や支援について講演をして頂いた。その後、新潟大学教育学部 有川宏幸教授との対談と市内で相談支援にあたる事業者3名によるシンポジウムを行いよりよい支援とは何かを学んだ。</p> <p>日時 平成29年2月4日土曜日 13時30分～17時 会場 新潟市北区文化会館練習室1 参加者 52名（保護者、教師、支援者、学生など）</p> <p>事業準備のための打ち合わせ 平成28年12月1日 チラシ配布日 平成28年12月1日 実行委員会打ち合わせ 平成29年1月20日 新潟日報朝刊掲載 平成29年2月4日 講演会開催</p>	
(4) 事業による成果及び今後の課題 <p>《成果》アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童期と成人期の話題をまたがって行う内容の講演会は少なく、参加者としては新しい視点を得た。 ・支援者としては普段の業務を振り返ることができた。 ・保護者は地域に暮らす子供らのイメージを持つことができた。これからは施設だけにとじこもらず、地域住民との交流や仕事など積極的に社会参加することの重要性を感じていた。 <p>開催地区が北区ということで人口の多い区からみても、人口に比して社会資源の少ない地域であり、こうした研修会の開催は参加者に大きな刺激になったと考えている。今後も継続することで地域独自の取り組みが出てくることが期待される。</p> <p>《課題》</p> <p>障がい児者を巡る問題は現在に始まったわけではないが、去年の施設入所者への殺傷事件などあり、支援者側でも地域交流や社会参加について理解や体制を作っていくために模索を続けている。こうしたセミナーを定期的で開催することで、障がい児者も地域の住民の1人として生きていける環境を実現していきたい。</p>	

⑥

収 支 決 算 書

I 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
補助金	60,000	56,000	新潟市からの補助金 補助対象経費合計113,361円 $113,361円 \times 1/2 = 56,000円$ (千円未 満切り捨て)
参加費	50,000	26,000	500円×52名
自己負担	10,000	32,619	実行委員会持出し
合 計	120,000	114,619	

⑥

収 支 決 算 書

Ⅱ 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	収入等の 充当先	摘 要
報償費	70,000	85,000	◎	講師謝礼 @35,000円×1名/ @20,000円×1名/@10,000円×3名
会場費	30,000	14,430	○	練習室1使用料@7,340円/練習室4使用料 @2,490円/施設備品使用料@4,600円
印刷製本費	8,000	2,731		紙代 A4×1000枚・封筒@1,916円 /印刷代当日資料1469枚@815円
食糧費	12,000	12,458	○	弁当代 @770円×14人=10,780円 飲料代@83.9円×20人=1,678円 但し、補助対象経費は11,200円
合 計	120,000	114,619		補助対象経費合計は113,361円

※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。

※ 補助金収入以外に、参加費や寄附金等の収入がある事業を実施する場合は、

収入を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「○」を記載してください。

また、自己負担額を充当する項目の「収入等の充当先」欄に「◎」を記載してください。

事業報告書

(1) 事業名	障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり 障がい児者 車イス心のバリアフリーファッションショー モニター
(2) 事業の実施期間	平成 29年 2月 9日 ~ 平成 29年 3月 29日
(3) 事業の実施内容	<p>Xティアシア空の広場 20F 平成 29年 3月 12日(日) 13:30~16:00 参加者数 100名 障がいの場の理解が深まった</p> <p>① 新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例 の2どしな条例 新潟市障がい福祉課による説明会等実施</p> <p>② 障がいのある人もない人も共につながるファッションショー 一万羽の平和の折り鶴ドレス 車イスバリアフリードレス さわってわかる長字のシキレット</p> <p>③ 住まえるだけである暮らし 講演 NAMARAエド歩 障がいのある人もない人もみんな人間住まえる村をみんな幸福な村に 住まえるだけである暮らし</p> <p>④ みんなで歌おうコンサート 曲名「あいの空」「上を向いて歩こう」「みんなの夢」「みんなの笑顔」「みんな草花」</p>
(4) 事業による成果及び今後の課題	<p>「成果」 ファッションショーによる障がい者のさまざまな 可能性のアピール、支援のあり方などに関する講演 多くの人が一緒に歌おうコンサートなどを通じ、多くの示しよいか うまい、障がい者に対する理解が深まり、支援の輪を 広げることに繋がった。また、新潟日報、毎日新聞、 読売新聞に記事が掲載されるなど、活動が内容が 広く周知された。こういったことが、障がいのある人も ない人も全員よき社会の実現に寄与していくものと 考えている。</p> <p>「課題」 障がい者に対する理解や支援はまだ充分ではなく 皆が住みよき社会もすくすく実現するものではないため 継続して活動していくことが必要である。</p>

7

収支決算書

Ⅱ 支出

(単位：円)

項目	予算額	決算額	「事業収入等」の 充当先	摘要
報償費	30,000	13,108		講師謝礼 健康大会T25310 ①13000×1人振込残108
賃借料	30,300	42,972		音響 15000 長机イ210-T232、 ² 映台、鏡 ² 7 6156A 振込手数料108A 会場費 21600A 振込手数料108A
委託料	10,000	8,000		ビデオ撮影 5,000 写真撮影 3,000
印刷料	0	9,453		チラシ 5,000 コピー代 2,400 写真現像 2,053
消耗品	0	990		養生テープ 612 色画用紙 378
衣装以外の料	15,000	15,000		点字汁付ト、カ+2枚 折り鶴島FL2 15000
食糧費	8,000	2,572		飲み物、お菓子代 1292 + 1280
合計	93,300	92,095		

- ※ 「項目」「予算」欄には、申請時の「項目」「予算」額をそのまま記載してください。
- ※ 補助金収入以外に、参加費等の事業収入又は寄附金等の収入（「事業収入等」）がある事業を実施する場合は、「事業収入等」を充当する「事業収入等」の充当先欄に「○」を記載してください。